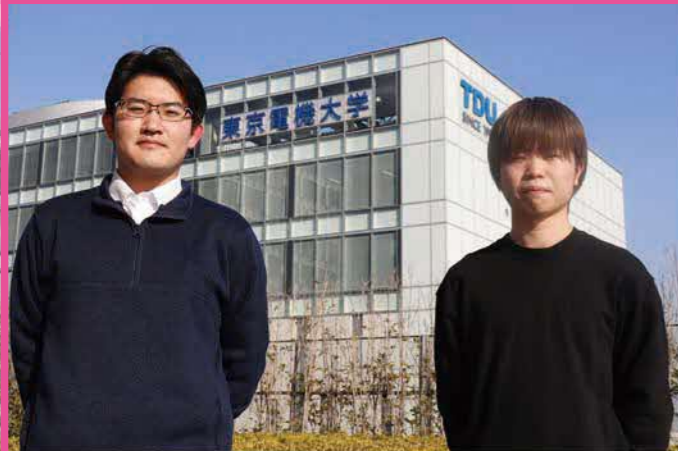


大学生から中学生へ一言

「朝読書や10分休みを有効に」

東京電機大学に通う2名
情報通信工学科 4年生 中村さん(左)
機械工学科 2年生 佐藤さん(右)

理工系を中心に学ぶ学校。
約10,000人が在籍。
住所：千住旭町5



中学生の時に読んでいた本



日常の中にワクワクがある
『都会のトム&ソーヤ 1』
はやみねかおる／著
講談社



😊 クラス全員が読んでいたほど大人気
『君の臓腑をたべたい』
住野よる／著 双葉文庫

今の中学生へのおすすめ本



😊 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
プレイディミカこ／著 新潮文庫

多様性の考え方に触れるノンフィクション
【中村さん】主人公は中1なのですが賢いなあと感じながら読みました。イギリスの学校のことも分かります。



😊 『四月になれば彼女は』
川村元氣／著 文春文庫

他の人の人生が垣間見えるほど情景が浮かぶ
【佐藤さん】文章から美しい映像が見えてくるのがすごい。少し重い恋愛小説ですが、大人になった時のことが想像できると思います。



【大学進学への決め手】文系（文科系）でも電子工作への好きが高じて

中学時代、大学進学は考えていませんでしたし、**自分は文系だと思っていました**。ただ、**電子工作が好き**だったので、高校に入ってから理系の大学を考えるようになりました。

今と昔の読書活動を比べてみて

小・中学校と字の多い本を避けてきましたが、**えり好みせずに読んでいればと後悔**。というのも、高校生の時たまたま家にあった本を読んだらおもしろくて、今でももったいなかったなど。今は電車での**通学時間が読書タイム**にもなっています。

【中学・高校との違い】身近なものから広がる将来の選択肢

部活で放送機材に触れていたことをきっかけに、大学で「音」を学んでいます。派生して車やスマホの「振動」にも興味を持つようになり、**将来の選択肢が広がったと実感**しています。



佐藤さんの読書の原点



😊 『かいけつゾロリ ちきゅうさいごの日』
原ゆたか／さく・え ポプラ社

大学・就職を深く考えたいキミへ

図書館からのおすすめ本



😊 行動すれば生き方を変えられる
『オタクを武器に生きていく』
吉田尚記／著 河出書房新社

得意科目ではなく「やりたいこと」優先
『なぜ私たちは理系を選んだのか 未来につながる<理>のチカラ』
樹太一／著 岩波書店



読んだりない方へ

ホームページには本誌で紹介しきれなかった本も50冊以上紹介しています。

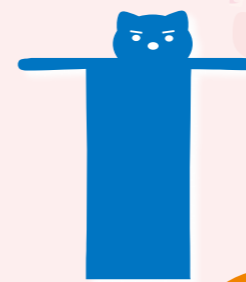
足立区 ティーンズスコop 検索



あだち電子図書館

詳細はコチラ!

登録はこちら



足立区立図書館 ティーンズ向け図書情報誌

Teen's Scope

2023.3
Vol.123

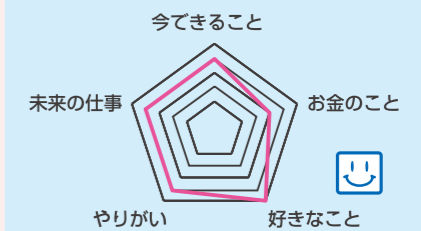


ティーンズくんで読みやすさをチェック!



読みやすい

読みごたえあり



『なぜ僕らは働くのか』

君が幸せになるために考えてほしい大切なこと

池上彰／監修 Gakken

勉強や学校は何のためにあるのか。そもそも仕事とは? なりたい職業がないとだめなのか。「働く」の疑問を中学生の主人公が家族や友人らと意見を交わしつつ、一つ一つ丁寧に紐解いていく。イラスト満載で**将来を**考えるヒントが詰まっています。

足立学園高校の生徒
東京電機大学の学生
にインタビュー

あだちの先輩の

イチ押し本

今回はみなさんのちょい上先輩にインタビュー!
中学生に読んでほしい本を沢山聞いてきました。
今号をきっかけに、友だち同士でおすすめの本を紹介し合ってみませんか?



高校生から中学生へ一言

「本はいつもワクワクする世界に連れて行ってくれる！」

学校法人 足立学園
足立学園 中学校・高等学校
文芸部員(高校生)のみなさん

中高一貫の私立男子校。
中高併せて1,300名以上在籍。
住所: 千住旭町40-24

自分の執筆作品をお互いに添削や評価し合いながら交友を深めている文芸部。同じ「ティーンズ」の目線で選んだ本なので、興味を持ちやすいのでは？



中学生の時に読んでいた本



物事の本質を考える練習になりました
『同じ勉強をしていて、なぜ差がつくのか? 「自分の頭で考える子」になる10のマジックワード』
石田勝紀/著
ディスカヴァー・トゥエンティワン



成績が伸び悩んだ中学時代、親に紹介されて読みました。勉強の効率を上げるために何が**必要か**を見つけられます。



6部作の第1作目
この1冊だけ読んでも楽しい
青春ミステリー

『いなくなれ、群青』
河野裕/著 新潮文庫



物語を通じて人々に問いかける本

『ポッコちゃん』
星新一/著 新潮文庫



『ポッコちゃん』のお話の中で「おいでてこーい」を紹介します。星新一の独特で**少し怖い世界観**と、ごみなどの地球の環境問題が関連付けられています。



物語重視の本を読みたいなら

文芸部
一番人気



人気アニメ映画を小説でも楽しんでほしい

『小説すずめの戸締まり』
新海誠/著 KADOKAWA/角川文庫



映画で見て気に入って読みました。私が本を読むようになったのも、映画『君の名は。』がきっかけです。今送っている幸せな日常は当たり前ではないと感じました。

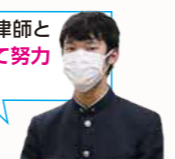


主人公の考え方が心に刺さる

『羊と鋼の森』
宮下奈都/著 文春文庫



無気力だった主人公が、ピアノの調律師として経験を積むうちに、**目標を作って努力**していくところに胸を打たれました。



いろんな立場から読める

『西由比ヶ浜駅の神様』
村瀬健/著 KADOKAWA/メディアワークス文庫

愛する人ともう一度会いたいと願う青年や妻などが主人公として登場する短編4話。**どんな人が読んでも感動**できます。



現場でしか分からない仕事の
大変さを疑似体験できる

『水族館ガール 1』
木宮条太郎/著 実業之日本社



市役所から水族館へ出向を命じられた主人公の成長物語。中学生の**今から仕事について考えるきっかけ**になれば良いなと思います。



今の中学生へのおすすめ本

文芸部
推薦図書



文芸部長
イチ推し

スマホに依存してしまう恐ろしさを実感

『スマホ脳』

アンデシュ・ハンセン/著 久山葉子/訳 新潮新書

よくないとわかっていても、ついつい使ってしまうスマホ。この本を読んで、**スマホとのつきあい方**が変わりました。タイマー付きのスマホ入れを買って、いじりすぎないようにするとか。



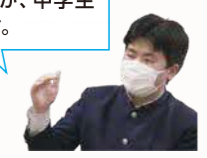
実用重視の本を読みたいなら



特に将来を考えるきっかけになりました

『君たちはどう生きるか』
吉野源三郎/著 マガジンハウス

人生において**大切なこと**を、中学生の少年が友だちや家族と一緒に学んでいくところが、中学生にも刺さると思います。



『公共』の予習にもなる

『ここだけのお金の使いかた』
アミの会/編 大崎梢・図子慧・永嶋恵美・新津きよみ・原田ひ香・福田和代・松村比呂美/著 中央公論新社

大人になったら必要になる**お金の使いかた**が、7つの短編小説を通して学べます。



4面は大学生へのインタビュー